

名前

日付

得点

1 / 5

1 「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」で始まる作品は？

答 雪国

川端康成。ノーベル賞受賞の代表作

2 「恥の多い生涯を送って来ました」で始まる作品は？

答 人間失格

太宰治の晩年の代表作

3 「山路を登りながら、こう考えた」で始まる作品は？

答 草枕

夏目漱石

4 「親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている」で始まる作品は？

答 坊っちゃん

夏目漱石

5 『日本書紀』が成立したのは何年？

答 720年

舎人親王らが編纂した勅撰の正史

6 『古事記』が成立したのは何年？

答 712年

現存する日本最古の歴史書

7 諸国の地理・産物・伝承を記した奈良時代の書物は？

答 風土記

地方誌にあたる

8 『伊勢物語』のジャンルは？

答 歌物語

在原業平が主人公のモデル

9 『今昔物語集』のジャンルは？

答 説話集

芥川龍之介が題材にした

10 『宇治拾遺物語』のジャンルは？

答 説話集

鎌倉時代成立

名前

日付

得点

2 / 5

11 『平家物語』のジャンルは？

答 軍記物語

無常観が基調

12 『大鏡』のジャンルは？

答 歴史物語

二人の老人の対話形式

13 『蜻蛉日記』の作者は？

答 藤原道綱母

平安時代の日記文学

14 『紫式部日記』の作者は？

答 紫式部

中宮彰子に仕えた記録

15 『和泉式部日記』の作者は？

答 和泉式部

敦道親王との恋を描く

16 『十六夜日記』の作者は？

答 阿仏尼

鎌倉への旅を記した

17 『風姿花伝』を書いた能の大成者は？

答 世阿弥

「花」の理論を説いた

18 俳人であり画家でもあった江戸中期の人物は？

答 与謝蕪村

絵画的な句で知られる

19 「やせ蛙まけるな一茶これにあり」の作者は？

答 小林一茶

庶民的な句風

20 『奥の細道』の旅に同行した弟子は？

答 河合曾良

旅の記録も残した

名前

日付

得点

3 / 5

21 『古事記伝』を著した国学者は？

答 本居宣長

「もののあはれ」を重視

22 『五重塔』の作者は？

答 幸田露伴

尾崎紅葉と並び称された

23 『高野聖』の作者は？

答 泉鏡花

幻想的な作風

24 『武蔵野』の作者は？

答 国木田独步

自然描写で知られる

25 『友情』の作者は？

答 武者小路実篤

白樺派の中心人物

26 『一房の葡萄』の作者は？

答 有島武郎

白樺派の作家

27 白樺派の作家を3人答えよ。

答 武者小路実篤・志賀直哉・有島武郎

雑誌『白樺』が拠点

28 『春琴抄』『細雪』の作者は？

答 谷崎潤一郎

耽美派を代表する

29 『濃東綺譚』の作者は？

答 永井荷風

谷崎潤一郎と並ぶ耽美派

30 『檸檬』の作者は？

答 梶井基次郎

丸善に檸檬を置く場面が有名

名前

日付

得点

4 / 5

31 『風立ちぬ』の作者は？

答 堀辰雄

軽井沢が舞台

32 『金閣寺』『潮騒』の作者は？

答 三島由紀夫

戦後を代表する作家

33 『墮落論』の作者は？

答 坂口安吾

戦後の価値観を論じた評論

34 『沈黙』の作者は？

答 遠藤周作

キリシタン弾圧を描く

35 『点と線』『砂の器』の作者は？

答 松本清張

社会派推理小説

36 『竜馬がゆく』『坂の上の雲』の作者は？

答 司馬遼太郎

歴史小説の大家

37 1994年にノーベル文学賞を受賞した日本の作家は？

答 大江健三郎

代表作『飼育』『万延元年のフットボール』

38 詩集『月に吠える』の作者は？

答 萩原朔太郎

口語自由詩を確立

39 詩集『山羊の歌』の作者は？

答 中原中也

「汚れつちまつた悲しみに」

40 「わたしと小鳥とすずと」の作者は？

答 金子みすゞ

「みんなちがって、みんないい」

名前	日付	得点	5 / 5
41	歌集『赤光』の作者は？ 答 斎藤茂吉 アララギ派の歌人		
42	『モチモチの木』の作者は？ 答 斎藤隆介 小学3年の教科書に載る		
43	『ちいちゃんのかげおくり』の作者は？ 答 あまんきみこ 戦争を題材にした童話		
44	『一つの花』の作者は？ 答 今西祐行 戦時下の父と娘を描く		
45	『海の命』の作者は？ 答 立松和平 小学6年の教科書に載る		
46	『スイミー』の作者は？ 答 レオ・レオニ オランダ生まれの絵本作家		
47	『手袋を買いに』の作者は？ 答 新美南吉 母子の狐が登場する		
48	『セロ弾きのゴーシュ』の作者は？ 答 宮沢賢治 音楽を題材にした童話		
49	『やまなし』の作者は？ 答 宮沢賢治 「クラムボン」が登場する		
50	詩集『春と修羅』の作者は？ 答 宮沢賢治 生前に刊行された唯一の詩集		